

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
利便性の高まりと人々が結び付いた暮らし 自動運転バスや AI デマンド交通、ライドシェアが定着し、買い物や通学・通院が一人でもできるようになっています。都心へのアクセス向上で移住希望者が増え、空き家を改修したカフェやゲストハウスなど新たな交流が誕生しています。また、堤防・排水機能の強化や避難支援アプリの活用により、有事の際にはすぐに安全な場所に避難ができます。水害の歴史や伝統的な防災知識の継承に加え、VR 訓練の実践で防災意識が地域全体に浸透しています。					
元気いっぱい伸び伸び育つこどもたち 駅を結ぶ交通が整い、通学先の選択肢が拡大し、地区外からも小規模特認校の下生井小学校を選択しやすく、渡良瀬遊水地や神社・史跡を活用した体験学習が充実し、水害対策の手法や地域文化がこどもたちに継承されています。閉校した網戸小学校はこどもの学びや新しい居場所に再生され、田んぼでは農家や高齢者との交流も盛んに行われています。	・生井の良さを皆さん知らない、下生井小をブランド小学校にしたい ・自然教育、湿地教育が行えるロケーションが素晴らしい（野木町の先生も視察にきて車が無いこと、遊水地が隣にあること、電子化に絶賛）	・下生井小学校の運動会に地域の人と参加する ・若い人が外に出ていかない方策を考える。 ・変化を恐れずに移住者を招く取り組み ・移住者を受け入れる体制を住民も整える	・子育て世代が地区外に出てしまう（学校が無くなるから） ・小学校の学区編成 ・小学生のおーバスの利用可 ・修学旅行や遠足等は他校と合同ではなく学校単独で行きたい ・公共交通の改善 ・間々田駅に近いため住宅地として充実できるよう行政として道路の整備を進めてほしい。 ・インフラ整備 ・住民の意見に基づいた公共交通の整備 ・学校行事に地域住民も参加して多世代が交流できるように	・生き物調査を下生井小学校の生徒だけでなく他地区の子どもたちも参加できるようにしたい。 ・恵まれた教育環境の提供 ・関係人口を増やす	
美しい田園風景の維持 有機栽培の「ふゆみずたんぼ米」や減農薬・減化学肥料で育てた「生井っ子」が広がり、コウノトリやトキが定着・繁殖しています。農地を活用したイベントでは、地域内外の人が保全活動に関わり、農地としてだけでなく地域の景観としても守られています。農業塾により農地が学びと交流の場となり、実践的な食育や営農指導を通じて新たな担い手が育成されています。	・多くの友達（生井以外）の人に遊水地やコウノトリを知ってもらいたい。興味をもってもらうためにはどうすればいいのか・・・ ・そば打ちの実習で技術を学びお店を開く - お店の食材は生井で作ったコメや野菜を使って地産地消	・農業をしたいという若い人たちを引き込む方策を考える。			

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
生活と共にある豊かな自然 外来種除去作戦やヨシ焼きが継続的に行われ、高品質なヨシ原がある渡良瀬遊水地の広大な風景は、変わらずに住民の心のよりどころとなり、外来種やイノシシなどはゾーニングで適切に管理され、貴重な生態系が守られています。湿地の恵みを維持し持続的に利用する「ワイズユース」が長年実践され、自然と歴史を学べる自然観察・自然体験の拠点になっています。	・狩猟免許を取得する	・渡良瀬遊水地、コウノトリや小学校についても地域のみんなで考えていきたい	・猪問題は生活に直結して切実（農家は収入も減る） ・猪問題を何とかしないとコウノトリどころではない ・猪問題はもはや行政課題となっている ・ジャンボタニシが農業に害を及ぼしている（有毒） ・遊水地で何か事業をやるたびに何かが起きる ・避難所（遊水地）を作ってほしい、家と仕事を失ってしまう ・与良川の堤防は猪の穴だらけ（県の管轄だが直してくれない） ・猪イモ類などの農作物の被害が凄い ・ヨシ焼すると猪が大放出されて非常に困る ・猪による獣害 ・自然もあり飲食もできる遊水地の魅力に		
地域をつなぐ新たな拠点づくり 渡良瀬遊水地の堤防に防災・交流機能を備えた渡良瀬遊水地コウノトリ交流館が移転し、観光・学習・憩いの場として多くの人でにぎわっています。市民農園や芝生広場により交流館跡地は旧思川と一体的に利用され、マルシェや農家レストランなどを通じて交流の機会が増え、地域コミュニティの活性化と農業の魅力発信に寄与しています。旧思川は親水公園として整備され、自然や歴史を学びながら過ごせる場所になっています。	・あんずっ子サマーフェスタを利用して各世代のつなぎ役をしていきたい。地域以外の人に生井のファンが多い ・意見を言い合える環境をつくりたい ・地域活動に積極的に参加したい。→参加すれば、今日の話し合いのように人とつながれる。 ・人が集まる楽しいイベントを開催したい。→集まることが大事。閉鎖的になるのはよくない。 ・食事をする場所がない ・防災訓練の工夫（水害水害と騒いでいる割に防災訓練は年に一回しか行っていないなあ…）	・地域の人々の交流 ・地域の魅力について再確認するための機会を持ちたい ・29年後に生きる人のことを考え地域づくりを考えたい ・地域で防災訓練を実施。いざ避難となった時を想定し、指示する人と動く人など役割分担を明確に ・堤防の近くに飲食できるコミュニティ拠点を確保。住民とコウノトリを見に来た人両方が集えるように ・11の自治会が情報共有する	・網戸小跡地の利活用 ・空き家をうまく活用できるように行政と一緒に取り組みたい ・行政にリーダーシップをとってもらい、各世代が集まる場を創る ・網戸小の跡地利用方法を市として提示してほしい。（一緒に考えたい）→ちょっと寄って、ちょっと話ができる施設がいい。また、防災関係。フリースクール ・人材育成（自治会長など） ・避難所がないのが最も不安	・防災は、近隣の乙女や野木との連携を深めてやりたい。 ・災害時の協力 ・間々田や野木とも連携して避難訓練をする ・あんずっこサマーフェスタは生井以外にも参加者がいる。継続したい	
そのほか	・自分できることをもう一度考えたい		・地域の人だけでは足りない部分を協力してもらってやっていきたい ・生井地区のビジョンに網戸、檜木。生良をきちんと入れてほしい。		